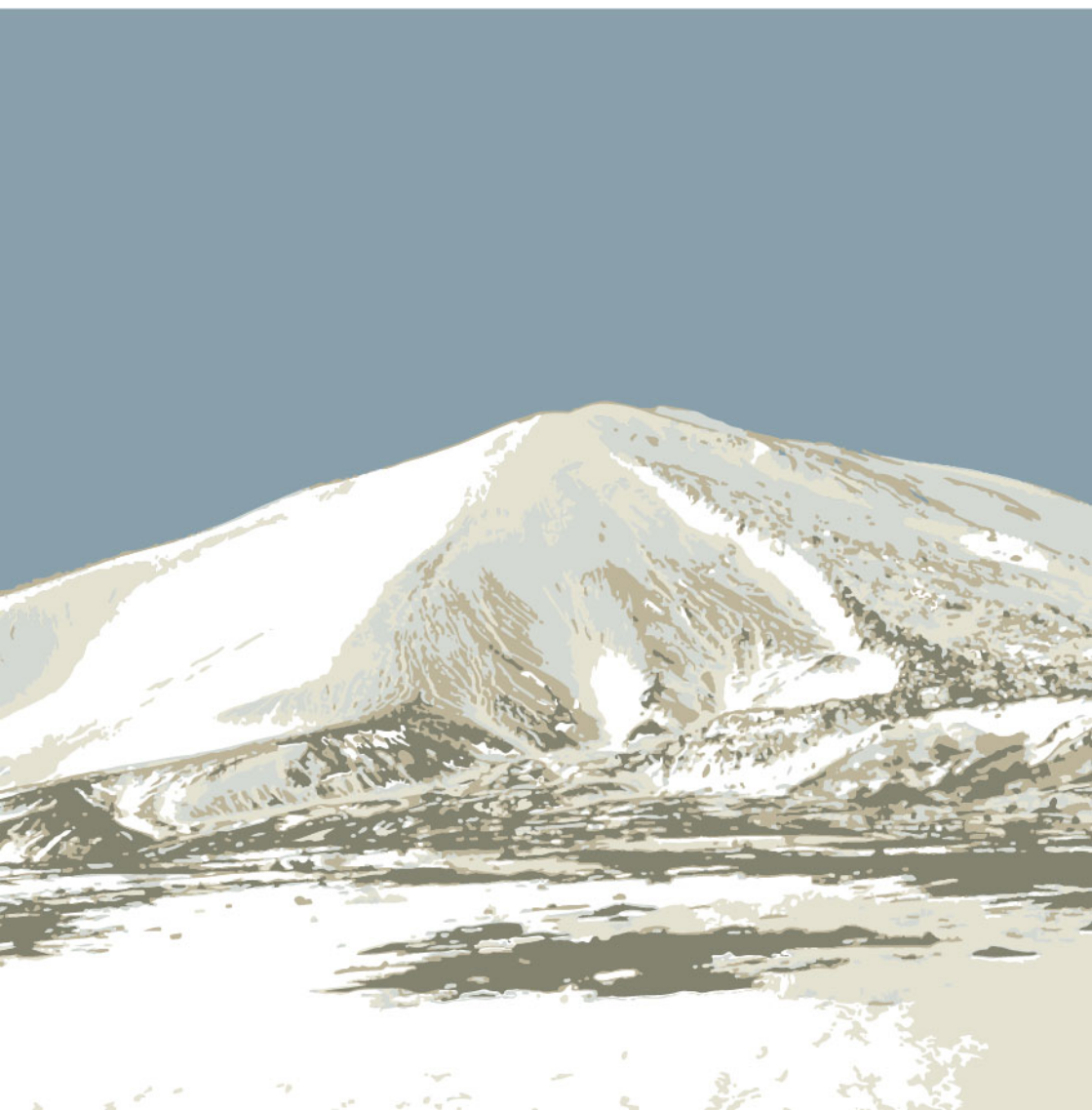


GUNMA TSUMAGOI VILLAGE

INTERVIEW

先輩移住者を訪ねて



群馬県 嬬恋村に移住する

雄大な浅間高原
別荘地に住むという選択

伝統的な村内
に住むという選択

移住を考える方々のライフスタイルに合わせて選べる
嬬恋村ならではの移住の仕方。

移住された先輩方の気になるつまごいライフ。

別荘地に住むってどんな感じかな？

浅間高原別荘地区に住む先輩方にインタビューしました。



嬬恋村

人口 9,818人(平成28年12月現在)
面積 337,58km²

プロフィール

嬬恋村は群馬県の北西部に位置し、浅間山・四阿山(あずまやさん)・白根山といった標高2,000m級の山々に囲まれています。平均気温が8℃前後と、夏でも涼しい気候条件であり、雄大な自然が辺り一面に広がっています。万座温泉や鹿沢温泉など温泉も豊富で、浅間高原一帯は別荘開発が進んだことから、観光リゾート地を形成しています。その気候から高原野菜の大産地でもあり、夏秋キャベツの生産量日本一を誇ります。村名は日本武尊(やまとたけるのみこと)と愛妻弟橋姫(おとたちばなひめ)との間のロマンに満ちた伝説に由来します。

群馬県

福田正利・美代子さん (60代)

婦恋村鎌原 在住 (移住前: 東京都)

ナイフ
職人職業: ナイフ職人
移住時期: 2002年10月
家族構成: 夫妻、愛犬

「都会で暮らすか 自然豊かなところで暮らすか の選択です」

長い目で見れば老後をどう過ごすか、終活っていうのかな、人生のカテゴリーの中で都会にも住んだ。でも、やっぱりなんか違う。早い段階で気づく人、遅い段階で気づく人。都会は便利、田舎は不便って尻込みする人。だけど、ここに永住してきた人たちは、もう自然豊かなところに住む、という気持ちが大半を占めていた。なにか一つきっかけがあれば、こうやって、ね。

婦恋村(群馬県)へ移り住むきっかけ

子供の頃から東京に住んでいて、近いから時々遊びに来てたんだ。きっかけは友達の結婚式(軽井沢)に呼ばれてここをドライブした時、改めていいところだと思って、住みたいなって気持ちがどんどん大きくなった。「土地に呼ばれた」って感じかな。八ヶ岳とか山梨の方とか土地を見に行ったけど、家を建てて住むというイメージがわかなかくて、最終的に北軽井沢に自然と足が向いた。ここに来たら未来予想図がピビビ、ときた。

移り住んで良かったこと

キャンプが大好きで、いつか星空のきれいな森の中でログハウスを建て、犬と暮らす夢を思い描いていた。漠然としたイメージだったものが、ログハウスメーカーや犬との出会いもあって、一つ一つ色々な歯車が合って夢が現実になった。虫はいるし、空には天の川が見えるし、もう最高ですよ。

移り住んで苦労したこと、乗り越えたこと

サラリーマンを辞めて収入が途絶えてしまったこと。無謀にも何も考えず来てしまった。でも、二人でアルバイトして共稼ぎ。ここは季節のアルバイトとかに限られて、通年で雇ってくれる就職先がない。移住してくる人には、収入源の確保。それが一番問題になる。ナイフ作りは、アルバイトをしながら本格的に作るようになって、そしたら、少しずつナイフの注文がくるようになった。今はナイフ職人としてやっていける、ありがたいです。希望を捨てないで頑張ってたかった。

移住を考えている人へのメッセージ

自分で何かやりたいって人には、最高の場所。物作りに適した環境、夏はクーラーいらないうです。冬は寒いけど、これもまた本当に楽しい。大自然が付加価値をつけてくれるというか、物作る人にはムチャクチャいい場所だと思うんで、来てほしい。




カスタムナイフ@森の中
beartope.com

ムラマツさん

(40代)

子育て
世代職業: あさまホーム(株)
移住時期: 2006年
家族構成: 夫妻、息子二人

嬭恋村大前 在住 (移住前: 愛媛県)

「自分らしい移住の仕方を選択できる村」

嬭恋村(群馬県)へ移り住むきっかけ

主人との結婚を機に、愛媛からお嫁にきました。主人は郡山出身、東京で仕事をしていたのですが、知人のお誘いで嬭恋村にきました。当初は、嬭恋村のことは知りませんでした。村って聞いたときには田舎だろうなと思っていましたが、来て見たら別荘地であり不思議な感じがしました。田舎ではあるのだけれど変わった都会的な雰囲気や併せ持つ地域だなと思いました。

移り住んで苦労したこと、どう乗り越えたか

子供がいないときは孤独であり、友人関係ができるのかなと不安でした。コミュニティにどうやって入っていけばいいのか、わからなくて。スーパーの人が「いらっしやいませ」と声をかけてくれる程度で、他の人と関わることができませんでした。

子供が生まれてからは子育てサークルに積極的に参加。意外とびっくりしたことに、村同士で結婚してる方より、遠方からのお嫁さんの方が多いと知りました。「私だけじゃないんだ」という安心感があって、仲良くなったというのがあります。

子育てをされていて良かったこと

都会に住む人たちの話を聞いていると、子育て時代に孤独な環境に置かれる人が多かったんですね。人口が多くなればなるほど、そういう傾向が強みたいです。私の場合、嬭恋村で子育てをして、予防接種にしても自分で病院の予約を取らなくても、村が全部管理して保健師さんたちが支援してくれる。子育てサークルもしっかりしていて、ピーナッツ掘りや乗馬など色々なコミュニティに参加することで、村全体のお母さんたちと知り合いになれる。都会ではできない、ここでしかできないことを体験させてもらったなと思います。子育て支援も小さい村ながら保育料、給食費、学童保育料など無料で、全国でもトップレベルの支援がすばらしい。ただ、勉強や習い事をさせたいときには、送迎がちょっと大変かもしれない。給食費、保育料等が無料になるのでその分、子供のために使えるのはすごく嬉しいです。

移住を考えている人へのメッセージ

私としては思った以上に、住みやすい村だと思います。他の地域だと移住となったときに、村本体の中に入らないといけないという雰囲気がある。嬭恋村では、もし接点をそこまで取りたくない、自由に暮らしたい、束縛されたくないと思う方には別荘地という場所があるので、自分らしい移住の仕方を選択できますね。



今後の目標、やりたなこと

仕事柄、別荘というものを取り扱っているのですが、遠方や都会から来られた方が安心して暮らせるように、色々なところで接点をもって支援していければなと思っています。



ノダさん

(70代)

お菓子
教室趣味：菓子作り、庭仕事
移住時期：2010年2月
家族構成：一人住まい

婦恋村鎌原 在住 (移住前：東京都)

「アンテナを低くして生活する」

アンテナを高くすると、色んな雑音が入るでしょ、自分の生活圏のことだけ伝わってくればいいの。穏やかに暮らそうと思ったら、アンテナを低く低く。

婦恋村(群馬県)へ移り住むきっかけ

25年前からお友達の別荘に来ていて、ここが好きで好きでしようがなくて、ちょっとのお休みがあると一生懸命出かけて「もっと居たいな」と思っていました。定年をきっかけにこちらへ来ました。

移り住んで苦労したこと、どう乗り越えたか

25年前からここに来て地元の人と仲良くしていたから、困ったことがあればみんな相談しにいったので、あまり困ったことはないです。ただ、入り口が舗装になっていない坂道に家を建てたものですから、仕方ないことなんですけど、大雨が降るとび道路が流され、その都度砂利を入れて直すんです。雨が降るとび道路修復、予想もつかないことでしたね。

やりたいたいこと、続けていきたいこと

今後も健康で、お庭をきれいにしたり、畑をしたり、この生活をずっと続けたいです。畑はね、私が食べる分はほんの少し、ほとんどは皆にあげたり子供たちに持たせたりしています。今の時代、お年寄りがお金持っているから、孫たちが来ると玩具とか山のように買い与えるけど、私にはそんな力ないから現物で一生懸命支給しています(笑)。玩具は買ってあげられないけど、農業体験なんて、すごい財産だと思わない？私はそう思っています。

移住を考えている人へのメッセージ

東京では民生委員が気にかけてくれる事はないですけど、この村はちゃんと見に来てくれます。豪雪の時も見に来てくれました。軽井沢に近く、喧嘩もなく、土地が高くない。途中からこの村に来て受け入れてもらい、色んな恩恵を受けてるので、買い物など、なるべくこの村にお金を落とそうと思っています。



ハナブサさん

(60代)

定年後
移住趣味: ボランティアガイド
(自然、植物、歴史、地理)移住時期: 2009年
家族構成: 夫妻、息子、愛犬

婦恋村鎌原 在住 (移住前: 千葉県)

「膨張経済ではなく、縮小経済。」

婦恋村では、収入源がなく、ある程度の生活費を確保してこないは無理ですね。都会だとね、色々な資格を持っていれば、いくらでも仕事はあり収入が得られるけど、ここはそれがありません。だけど、収入が少なくても生活のレベルを下げれば、それなりの生活ができます。そこができないと、田舎の生活はむずかしいですね。

婦恋村(群馬県)へ移り住むきっかけ

昔から子供の関係でよく来ていたので、地理に結構明らかなった。別荘地に土地だけ買っていたので、会社を早期退職し、その退職金で別荘を建てようと思い建てたんです。その後、仕事の関係でバンコクに赴任。サラリーマンで二軒の家を持つことは経済的にもたないですよ。どっちかにしようと、暑い常夏の国で決めてね。寒いところでもいいや、と別荘を残すことに決め、千葉の家は売りました。帰ってきたら住むところがここしかなかったの、それがここへの定住のきっかけでした。

移り住んで良かったこと

近くに色々な便利なお店がないこと。千葉に住んでると歩いて数分でファミレスやスーパーなどがある。それがここには全然ない。だからね、草と露を食べて生きていくから、ずいぶん経済的(笑)。まずこういう田舎なんで生活費がずいぶんと安い。都会に住んでいると、電車やバスとかすぐお金がかかる。ここは、どちらもないから運賃いらない(笑)。そういうところがよかったですね。同じ年金生活でも、都会より余計な出費がかからない。ペットにとっては本当にいいところ! 前いたところでは体調を崩して大変だった。でも、ここでは犬が健康で元気。庭を走り回ってダニが付くぐらい。予防してあげれば全然大丈夫。病気にしない。犬や動物にとって、とてもいいですよ!

移住を考えている人へのメッセージ

都会と田舎の生活は全然違う、変化にどれだけ耐えられるか、自分自身でいっぺん考えてみてほしい。都会だったらお金があればできることも、ここではいくらお金があってもできないんですよ。自分がそこにどれだけ入り込めるかが、田舎の生活が上手くいく秘訣じゃないかな。だからといってそんなに我慢する生活じゃないですよ。光ケーブルでネットが速い、スマホも全部入る、ネットで注文すれば、次の日には何でも届く、宅配便にはいつも感謝している。都会生活並とはいかないけど、近い生活ができる。田舎暮らしで不便なところは我慢しなくてはいけないこともある。上手に利用できることを探っていけばまったく問題ないですね。



シャクダさん

(70代)

定年後
移住移住前の職業：
インテリアコーディネーター
移住時期：2006年
家族構成：夫妻

婦恋村大前 在住 (移住前： 広島県)

「自然がそのまま残ってる 最後の樂園だと思っちゃった」

最後の晩年、60過ぎたら、もうお釣りの人生だと思っているの。大切にに使わせていただきたいなと生活をすごく楽しんでます。時々ね、退屈じゃない?と聞かれることがあるけど、退屈なんて言葉はとんでもないです。1日なんてあつという間、やることいっぱいある。だから、ボケてる暇はないの。

婦恋村(群馬県)へ移り住むきっかけ

子供の頃、父と長野駅に着いたとき、冬山の景色に感動しました。雪がかぶってるところ、すごくきれいで、ここも同じ景色。冬の六里ヶ原から見えるあの景色、もう感動ものでした。子供たちが独立しておばあちゃんになったら、絶対に目に優しい景色の中で暮らそうって決めたんです。海もいいね、でもやっぱり住むのは山がいいねと、リタイアしたら森に住もうと決めました。10年住んで言うことは、群馬と長野は品のいい田舎だと思っています。すごく好きなんです。都会より好きです。1年に数回は都会へお芝居やミュージカルを観に行きます。でもね早く帰ってきたって思うの。

移り住んで良かったこと

全部良かった。都会にいるときは人疲れもあり、健康面ではいつも風邪を引いてました。ここに住んでからは10年間一度も風邪で寝込んでません。森林浴にウォーキング。ヤマブドウやキノコを採りに行ったり、自分が食べる分のクレンソンをちょっと失礼したり(笑)。感謝してるの、この自然に。この空気と緑を感じたら、もう都会には住めません。

移り住む前と今の生活で変わったところ

主人は事業をしてたから、人任せで何もできない人だったの。ところが、薪割りを始め、キャンプ場で働かせてもらうことになって、またそこで色んなことを学んで。最初はできなかったけど、だんだん上手くなって、今は木道、薪スタンド、ちょっとしたことは全部自分で直せるようになったの。自分たちで考えながら工夫して、生活していく。生きるってこういうことだ、と思いました。「してもらおう、じゃなくて自分で動く」そうじゃないと住めないです。火ひとつおこせなかった主人が今はプロです。楽しくしょうがない様子。

移住を考えている人へのメッセージ

婦恋村に住まわせてもらってありがとう、婦恋村に出会って良かったと心から思ってるの。いいこと言ってくれて言われても言えない、これは本当に感じる。主人も元気で健康でいられること、空気もいいし、食べ物も美味しい。自然、日本の四季、本当に素晴らしい四季だからね、子供の為にもそれを感じてもらいたい。



ホシオさん

(50代)

カフェ
お店

職業: カフェ経営
移住時期: 2016年5月末
家族構成: 夫妻、愛犬

婦恋村鎌原 在住 (移住前: 埼玉県)



「第2の人生はお店をやりたい」

婦恋村(群馬県)へ移り住むきっかけ

3年くらい前に、今のお店に出会って「カフェをやりたいな」と思ったのが、きっかけです。

50には第2の人生を、「自分のお店をやりたい」という夢がありました。

移り住んで良かったこと

目が覚めたとき、緑がいっぱい、空気が澄んでいて、季節感が全然ちがいます。ワンちゃんを自然の中で遊ばせてやりたいという思いもあったので、良いところに住めていいなと思いました。

移り住む前と今の生活で変わったところ

ちょっと買い物が不便と感じます。都会だと物が足りないと、すぐに行けるけど、ここでは中軽井沢まで買い物に行きます。そこまで行くと色々な物があります。普段、都会と違うのはゴミ捨てにも車で行かないと行けません。都会では歩いて行けるところにゴミ捨て場があったので、それが私には衝撃的でした。

今後の目標、やりたいこと

お店に色んな人がいっぱい来てもらって、ここは良かったなと思ってくれる人が増えることが、私の理想です。このお店で色んなことをやりたいです。たくさんの方が訪れてくれるような企画など、自分もお店も楽しもうと思っています。

移住を考えている人へのメッセージ

ここは自然の多いところで、虫や動物も沢山いてビックリすることもあります。とても空気が美味しくて住んでいて良かったと思います。緑を見ると疲れた心も癒やされるので、色んな人に来てほしいなと思います。

D-café

季節営業 4月～11月
営業時間 8:00～18:00
定休日 水曜日(7月～8月は無休)
住所 婦恋村大字鎌原1053-566
TEL 0279-84-1083

あさま高原オープンガーデン 推進協議会



「自由に散策して楽しむ 愛好家のオープンガーデン」



浅間高原を中心とした高原の庭を気軽に鑑賞していただく為に、あさま高原オープンガーデン推進協議会を平成28年に立ち上げました。村外のガーデン愛好家の方々と及び村内の方にも見に来ていただく季節のオープンガーデンツアーを企画して、交流を図っていきたいと思います。さらに花育活動との連携企画も行い、他の団体とのつながりの輪を広げ、この地域の活性化及び移住促進の引き金になるように継続していくことを目的としています。

今後の目標、やりたいこと

あさま高原オープンガーデンの仲間の輪を少しずつ広げ、春から夏にかけての、高原の別荘地域のガーデンニングの楽しさ、素晴らしさをお伝えできればと思います。また、村内のガーデンニングがお好きな方も交流を深めていければ、地域の活性化に繋がるのではと期待しています。その後、花育、その他グループとのコラボレーションができるように努力していきたいと思えます。

実績

「春・夏のガーデンツアー」を4回、「秋のガーデンツアー」を2回、実施されています。いずれも口コミだけでバスツアーの定員がいっぱいになってしまう程、愛好家の皆様に好評をいただいているようです。今後ともツアー企画など、色々と考えていくとのこと、楽しみです。



移住を考えている人へのメッセージ
都会では考えられない広さの庭で、自分の夢であるガーデンニングを考えている方にはこの地域はとても素晴らしい所です。冬は厳しく、雪も降りますので、2地域居住型のライフスタイルとか、通い型の田舎暮らしとか、過ごし方を自分にあったスタイルにしながら、趣味を思いっきり楽しめる人生を考えてみてはいかがでしょうか。人生は一度きりしかありませんので。

孺恋村 Q&A

Q

雪が降ると聞きました。雪かきをしたことがなくて、冬が心配です。孺恋村の気候を教えてください。

A

雪は1月から3月にかけて降雪します。平均的には約30～40cm程積もります。雪質はパウダーで、風で飛ばされるような雪です。近年、温暖化の影響で湿雪のこともあります。夏は冷涼で過ごしやすい気候です。

先輩移住者の冬の過ごし方を教えてください。

ほとんど雪かきですかね(笑)、それは冗談ですけど。晴れの日は雪かきも気持ちいいもんですよ。薪割りには、雪が降る前に少しずつやっています。ナイフは、冬も作っています。だけど寒くてね、大変ですよ。でもストーブを焚けばなんとかなります。



福田 正利さん



福田 美代子さん

薪ストーブは暖かいですね。冬の暮らしは、是非とも薪ストーブをオススメします。薪の手はずさえ整えば、暖房として一番いいですね。

薪ストーブのクッキング。薪ストーブの上で、ことごと煮物を作ったり、食事面で力を入れるのは冬かもしれない。



薪は、冬を過ごすために必要ですよ。1日20～30本くらい使うかな。一冬だけで5トンくらい。10月から翌年5月くらいまで使います。トラックいっぱい原木を切って割らないといけないから、夏・秋は薪を作るだけでも数日かかります。腰が痛くなりますね。そしたら、温泉かな。それがまた、結構楽しいですよ。薪は椎茸屋さんから手に入れてます。椎茸はナラの原木を切るでしょ。太さ15cmくらいかな、それ以外は椎茸には使えないから、それを分けてもらってくる。それを切って割って、並べて置いて使います。



ハナブサさん

除雪は完全ですか？ 住居について教えてください。

除雪は完全です。別荘地ということもあるのかもしれませんが、雪が降るとだーっと除雪してくれます。やはり、家はインフラがしっかりしているところを選びました。ここを選んだのは、雪かきが大変だろうということや、大きい道路にすぐ出られるということ。雪で出られなくなったことは、10年間住んで一度もないです。



シャクダさん



ハナブサさん

私達、家族（愛犬を含めて）自然が大好きなので、厳冬、雪の中をスノーシューを履いてトレッキングに出掛けるの！しかし、家の中は一日暖炉が燃えててポカポカ暖かい。1～3月の戸外はマイナスの世界、冬失敗する人は家屋が冬仕様に建てられていないから寒さに耐えられない。冬に向かって夏からぼちぼち冬支度するのも楽しいもの、自分の住んでる現状をしっかり把握して生活に入ることが必須条件ですね。

土が凍ります。真冬になると棒が突き刺せません。雪は大したことないって言われたけど、土が凍るので東京から建築屋さん連れてきてもダメですね。基礎がちゃんとしていないと凍って持ち上がります。同じに沈まないから、家が傾くの。この家、物置ひとつそうですよ。この気候に合わせて、下にアンカーが入っています。その上に家が乗ってるのよ。こんな小さい家でも基礎は1m50cmくらい入ってます。移住してくる人には、基礎は重要ですね。やっぱり、年間通していようと思ったら、幹線から外れないこと、雪が大変ですから。もし離れたところだったら、管理がしっかりしているところを選ぶ。家や別荘を買うとき、みんな季節のいいときにしか来ないですよ。雨が降った日とか雪が降った日、春夏秋冬、全部見た方がいいですよ。



ノダさん

村の若者の出会いは冬場のスキー場？

農家の跡取りや若い人達は、冬、地元のスキー場や万座・草津・白馬等でスキー学校の先生やパトロール隊員等で働いているので、遠方から来る女性と知り合う事が多いのです。



ムラマツさん

そうです、そうです。色んなところからスキー場で出会ってるみたいです。東京とか埼玉で仕事をはじめて10年くらいしたらUターンしてくるパターンが多いそうです。その時に会ったお嫁さんを連れてくるそうです。村外から嫁いだ子育てママが多い。なるほど、これは地域独特だなと思いました。

ご質問・お問合せ

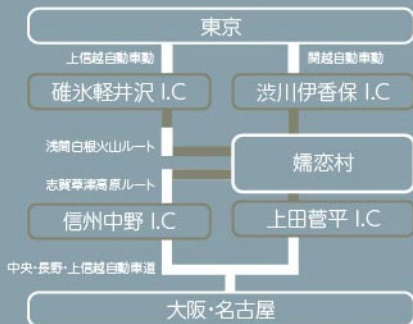
帰恋村の移住・定住に関するご質問・お問合せは、裏面の【お問合せ先】までご連絡ください。また、先輩移住者へのご質問、交流してみたい等のご要望がございましたら、【相談窓口】にてご対応させていただきます。

交通のご案内

電車をご利用の場合



お車をご利用の場合



■有料道路

お問合せ先

移住定住に関するご相談窓口 嬬恋村移住・集落支援室

TEL: **0279-82-5191**
FAX: **0279-82-5033**
〒377-1524 群馬県吾妻郡嬬恋村大字鎌原495-45
Eメール: info@tsumagoi-style.com
【相談受付】 9:00~16:00 【定休日】 年末年始
<https://www.tsumagoi-style.com/>

嬬恋村総合政策課

TEL: **0279-96-0511(代表)**
0279-96-1257(直通)
FAX: **0279-96-0516**
〒377-1692 群馬県吾妻郡嬬恋村大字大前110番地
<http://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/>

